

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひふみ長野吉田教室		
○保護者評価実施期間	2025年9月19日		2025年11月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年9月19日		2025年11月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・運動遊びを主軸とした療育の実施	・屋内での運動遊びに加え、地域の資源(公園や体育館等)を活用し、感覚統合の視点も入れ運動遊びを行っています。活動として、運動遊びだけでなく、リズム・音楽要素を入れた運動(リトミック)の実施や、微細運動を行う調理活動を入れ、多様な活動を運動活動としての目線で行っています。	・動きの多様化やお子さんの発達段階に応じた運動遊びの提供を行っています。また、より多様な経験が行えるように制作活動など活動内容を充実させていく。
2	・専門職(保育士)を配置しています	・専門的視点で、個別および集団支援を行うことができています。	・今後、さらに個々に応じた支援の充実が図れるように日課の工夫、活動プログラムの工夫を行っていきます
3	・卒後に向けた就労体験や他教室との合同イベントを開催	・中学生・高校生を対象とした就労継続支援事業所と連携したお仕事体験を長期休暇に実施。また、他教室・他法人の児童との交流会(リトミック交流会)を実施しています。	・今後も継続していく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・児童福祉事業の経験年数が少ない職員が多いため、資格を十分活かして日々の療育にあたるのが難しい。	・経験豊富な職員を研修担当として、非常勤として配置するなど工夫している。	・社内研修の充実を図りつつ、外部研修へも積極的に参加できるように体制を整えていく。 ・日々のミーティングが最も重要な研修にも繋がるため、職員間で意見の出し合える環境をより構築していく。
2	・保護者との面談スペースが十分に確保できていない。	・事務室内に面談用のスペースを設け、移動式のパーティションで仕切る等の対応を行う。	・構造的な問題が大きいため、すぐには難しいが、現在の事務室内のレイアウトを変更するなどしていく。
3	・ほとんどの書類関係を、Excel、Wordといったツールを使い管理しているが、得意不得意があり、時には業務に支障きたすことがある。	・VBAやマクロを使用し、できるだけ簡単に書類作成や管理業務が行えるように工夫している。	業務効率化を図ると同時に、その時間を療育関係に充てていく。